

**2023 年 8 月改訂（第6版）

届出番号：13B1X00072001108

*2017 年 11 月改訂（第5版）

機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 呼吸ガス混合器 36327009

エアロチャンバー

【形状・構造及び原理等】



【使用目的又は効果】

液体の医薬品をエアロゾルとして患者が吸入する空気の中に噴霧するために用いる機器である。

**【使用方法等】

●使用方法

（人工呼吸器回路に取り付ける場合）

1. 接続アダプターの径 15mm 側をエアロチャンバーの装置側接続部に接続する。
2. エアロチャンバーを人工呼吸器回路の Y コネクタと吸気チューブの間の位置に接続する。この時、しっかりと接続されている事を確認する。
3. MDI ボトルをよく振り、中の薬剤をよく混和させ、本品の MDI 接続部にはめ込む。この時、しっかりとハマっていることを確認する。
4. MDI ボトルが垂直になるように持つ。MDI ボトルを押し下げ、ゆっくり吸入を始める。
5. 次の吸入までは約 10 秒以上の間隔を開ける。
6. 医師の指示に基づき、定められた回数だけ、上記操作を繰り返す。
7. 吸入が終了したら MDI ボトルのキャップをしめ、本品を人工呼吸器回路から外し清潔な場所に保管する。

（蘇生バッグに取り付ける場合）

1. 接続アダプターの径 22mm 側をエアロチャンバーの患者側接続部に接続する。
2. エアロチャンバーの装置側接続部に蘇生バッグを接続する。
3. 患者の気管内チューブから人工呼吸器回路を外す。
4. エアロチャンバーの患者側接続部を気管内チューブに接続する。
5. MDI ボトルをよく振り、中の薬剤をよく混和させ、本品の MDI 接続部にはめ込む。この時、全ての接続部がしっかりと接続されていることを確認する。
6. MDI ボトルが垂直になるように持つ。MDI ボトルを押し下げ、ゆっくり吸入を始める。
7. 次の吸入までは約 10 秒以上の間隔を開ける。
8. 医師の指示に基づき、定められた回数だけ、上記操作を繰り返す。
9. 吸入が終了したら気管内チューブからエアロチャンバーをはずし、人工呼吸器回路を接続する。
10. MDI ボトルのキャップをしめ、本品を蘇生バッグから外し清潔な場所に保管する。

**【使用上の注意】

- ・ 本品 1 個につき使用は一人に限ること。
 - ・ 落としたり、ぶつけたり、重いものをのせたり、過剰な力を加えたりしないこと。[破損するおそれがあるため。]
- MDI ボトルを接続する際、力を入れ過ぎないこと。[過度の力により MDI ボトルの噴霧口がエアロチャンバーの噴霧口接続部に詰まり、破損の原因となるため。]

- ・ 本品を使用する前に、本品に損傷や部品の欠落がないことを必ず目視にて確認すること。少しでも損傷や部品の欠落を確認した場合は、直ちに新しい製品と交換すること。
- ・ 本品を使用する前に、各接続部分がしっかりと接続されていることを確認すること。
- ・ 本品に使用する薬剤は、医師の処方に従うこと。また、使用方法についても医師の指示に従うこと。
- ・ 吸気が終了した後は、かならず本品を人工呼吸器回路から取り外すこと。
- ・ 薬剤の吸入回数については、医師の指示を必ず守ること。
- ・ 本品との併用による安全性が確認されていない医療機器（例えば人工鼻等）とは併用しないこと。
- ・ 二次汚染を防ぐため、併用している人工呼吸器の呼吸回路の交換と合わせて新品と交換すること。交換後、使用済みのものは廃棄し、再使用しないこと。
- ・ 本品に洗浄、消毒、滅菌を施さないこと。

【保管方法及び有効期間等】

●保管方法

- ・ 水のかからない場所に保管すること。
- ・ 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより、悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
- ・ 化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に保管しないこと。

【保守・点検に係る事項】

●使用前点検

- ・ 本品が清浄であること、正しく組み立てられていること、異物が混入していないこと、損傷や部品の欠落がないことを目視にて確認する。
- ・ 少しでも損傷や部品の欠落を確認した場合は、直ちに新しい製品と交換すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

●製造販売業者

株式会社アムコ
TEL：03-3265-4261

●外国製造業者

業者名：トゥルーデルメディカル社 (Trudell Medical International)
国 名：カナダ